

2008 年度

科目名 現代日本語研究	対象学科・学年 文学部日文2 回生	担当者 藤田 保幸
授業テーマ 現代日本語文法の基礎		
授業の概要と目標 一歩進んだ現代日本語文法の理解を目指し、文の基本構造から説き起こして、「ヴォイス」「テンス・アスペクト」「モダリティ」「複文」「連用と連体」といった事項にわたって、日本語文法の基礎を概説する。現代日本語の文法研究のためには、さまざまな基礎概念やテクニカルタームの理解が必要であるが、この時間は、もっぱら講義形式によって、現代日本語文法論の基礎知識の修得を目指して、基本的な事項を説明していく。		
評価方法 もっぱら、小テストの成績によって評価するが、随時用例収集等の課題を課して、提出を求める。また、出席も基礎点として重視する。		
テキスト 日本文法論序説	著者 藤田保幸	出版社 私家版
参考書 日本語のシンタクスと意味Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	著者 寺村秀夫	出版社 くろしお出版
授業スケジュール・内容 1. 文法論の前提として－導入 2. 文の基本構造 3～4. 主語論－主語と主題 5～6. ヴォイス－受身と使役 7. テンス 8～9. アスペクト－金田一の四分類など 10. モダリティ－確言と概言、ノダ文など 11～12. 複文 13. とりたてて詞 14. 連体と連用 15. まとめ		